



July



つばき

トライ・アンド・エラー(試行錯誤)のたくましさを

とう しょう ちかのり
校長 東 條 睦 宣



「あれ、途中で止まってしまった。」
「よし、今度こそうまくいきそうだ。」
「やった！大成功だ！！！」

こんな声が、図書室に響き渡っていました。7月6日、7日にプログラミング教室が開かれ、子どもたちは大変熱中し、充実した時間を過ごしました。

2020年度から小学校では「プログラミング教育」が必修化されました。「プログラミング」とは、分かりやすくいうと、

コンピュータに対して、指令を出すこと です。



これだけだと、「どうして小学生にコンピュータへの指令なんて学ばせる必要があるの？」と疑問がわきます。(最初は、私もそうでした。)

しかし、実は、私たちは日常生活のあらゆる場面で「プログラミング的思考」を使っています。例えば、「料理」です。お味噌汁を作るとなったとき、完成に至るまでいくつかの工程を経なければなりません。次のような工程が考えられます。

- ① 鍋に昆布と水を入れ、火にかける
- ② 沸騰する前に昆布を取り出す
- ③ 鍋に昆布からとっただし汁と具材を入れ、火にかける
- ④ 沸騰したら火を止め、味噌を入れて完成



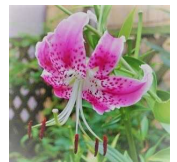
何気なく作っているお味噌汁であっても、必要な材料を準備して、かつ最適な手順を踏まなければ美味しいお味噌汁は完成しません。この、「**完成に至るまでの過程を考え、行動すること**」こそが、実は「プログラミング的思考」の基本なのです。

物事には、このように**目的**と、目的にたどり着くまでの**過程**が存在します。そのことを意識して行動できるかどうかは、子どもたちがこれからの社会を生き抜いていくうえで非常に重要なポイントとなると考えます。

しかし、思い描いている**目的(ゴール)**にたどり着けないときの子どもたちの反応として1学期気になったのが、「もうしたくない。」「できないから嫌だ。」とすぐにやる気をなくしたり、全力でとりかかることすら諦めたりする反応です。実は、これらの反応が子どもたちの生活態度や授業中の様子に直結します。せっかく今から伸びる、成長するチャンスがあるのに、「学びへの構え」ができていないために、伸びや成長につながるドアさえ開こうとしない状態です。これは、大変「もったいない」ことです。

先の教室で、そんなときに役に立つ「プログラムの思考」の用語も教わりました。

トライ・アンド・エラー という言葉です。



馴染みのある言葉に直すと、「**試行錯誤**」です。一度や二度の「エラー(失敗)」をしても、その**過程**のどこに間違いがあったのか突き止め、「改善」を加えて再度「トライ(挑戦)」する。

目的を達成するにはその繰り返しが大切だという考え方です。

プラモデル全盛期時代の私にとっては、当時の粗雑な設計図を頼りに試行錯誤しながらプラモデルを完成させるまで熱中して取り組み、そして、完成させた喜びは今でも役に立っていると思います。

さあ、明日から待ちに待った夏休みです。ウミネコ留学生や転入生も、すっかり鹿島っ子になりました。鹿島で生活し、学習し、身に付けたことを、夏休みにもぜひ生かしてほしいと思います。学習でも、遊びでも、生活習慣でも、自由研究でも、「じっくりと」「継続して」取り組むことを決めて「トライアル・アンド・エラー」のたくましさを育む夏休みにしてほしいと願います。



2名の中学生が、鹿島分園の職場体験で実習を行いました。幼稚園生は、読み聞かせや遊びに大満足でした。これまで通り、幼稚園から中学生までのつながりを大切にする鹿島であってほしいです。



学級PTA・学校保健委員会(9日)

1学期末の学級PTAには、保護者のみなさんにご出席いただき、振り返りと2学期に向けての話し合いができました。また、学校保健委員会では、今年度の児童の様子をもとに、子どもたちの健康について考えました。テーマは、「心も体も元気いっぱい大作戦！～メディアとの正しい付き合い方～」です。メディアとの付き合い方は、子どもたちの(私たち大人にとっても)これからずっと関わる大きな課題です。ぜひ、みんなで一緒に取り組んでいきましょう。お忙しい中、ご出席いただき、本当にありがとうございました。



海の安全教室(16日)

海上保安庁串木野海上保安部から、4名の方々に来ていただき、「海の安全教室」を行いました。これは、地域の方々の要望を受けて、駐在所から海上保安庁に問い合わせただけで実施することができました。海が生活の一部である鹿島(甑島)において、海での活動・遊びは子どもたちにとって大切なものです。ひとつしかない“命”を自分で守るために、学んだことを生かしたいと思います。



子ども会海水浴(18日)

今年は天候や波の状態に悩まされ、ウミネコ餌付け、天草採り、海洋体験と、いろいろな行事ができないままでした。そこで、子ども会で海水浴を計画してくださいました。前日から流木等を集めてくださったり、また、ボートを出して子どもたちの安全管理をしてくださったりと、保護者、地域の皆様の御協力のおかげで、楽しい時間を過ごすことができました。桟橋からの飛び込みは、5・6年生から。初めはこわごわ飛び込んでいた子どもも、楽しさを覚えて何回も飛び込むように。中には、なかなか飛び込めずにいた子ども、チャレンジした後は「怖ったけど楽しかった。」という感想が。あとから3・4年生も飛び込み許可が出て、思いっきり楽しんでいました。

このような体験は鹿島ならではの、怖くて躊躇することでも、思い切ってチャレンジして、できた！大人になっても、この経験は、心の中にきっと残っていることでしょう。



学校閉庁日のお知らせ

昨年度に引き続き、薩摩川内市の小・中学校では、働き方改革の一環として学校閉庁日を設定しています。

今年度は、8月11日(水)～13日(金)の3日間で、この期間は閉庁とし、職員の出勤もありません。



1学期は保護者、地域の皆様に大変お世話になりました。2学期もどうぞよろしくお願いいたします。

8月の主な行事予定

- 9日(月) ボンボリ設置
- 11日(水) 学校閉庁日(～13日(金))
- 16日(月) ボンボリ片付け
- 20日(金) 出校日・出園日
- 28日(土) PTA愛校作業
- 29日(日) PTA愛校作業(予備日)

子ども会	7月26日(月)～30日(金)〈前半〉
ラジオ体操	8月27日(金)～31日(火)〈後半〉

2学期の始業式は、小学校・幼稚園ともに9月1日(水)です。給食があります。

